

千代田町

産業文化祭

11月3-4日

展示時間

千代田町中央公民館 9:00~21:00

千代田町農協中央倉庫 9:00~17:00

主催 千代田町



あなたの郷土

テーマ「あしたの郷土」

私達の郷土の経済、文化、私達の生活は、その時代その時代に適応する努力のなかで過去から現代へと或いは激しく、或いはゆるく永遠の進化を続けて来ました。

この歴史的役割を受けつぎ栄光の未来を築く責務を有する私達が激動の中にあって、静かに我が郷土を客観し「住みよい農村都市」建設の意欲のもとに共に考える場として此の事業が計画されました。そのテーマは「あしたの郷土」であります!!

ごあいさつ

千代田町は来るべき中国縦貫道横断道の高速道路完成の期をめざし、農林業の近代化と地場企業、工業導入によって内陸型企業の振興を行い、農工両全又、商業観光振興による町民所得の増大および生活環境の改善、保健衛生の向上、教育の振興を図ることを主柱に、文化的田園都市建設を基本構想として時勢に対応しております。

このときにあたり、誇るべき私達郷土の産業文化を見直し、再認識することによって「住みよい豊かな農村都市建設」への意欲の高揚をはかると共に、この催しが町民各位の経済、生活の一助となり、本町発展躍進の為に意義あるものとなることを念願するものであります。

この祭を催するに当り積極的にご協力いただきました関係機関に対し、深く感謝申し上げます。

千代田町長 井 上 一 位

山もほんのりと色化粧を始め、秋の味覚も味わうことが出来るこのすばらしい秋に産業・文化祭が行われることになり、私達青年も参加することになりました。

私達は、一昨年昨年と二回文化祭を行いました。今年は、千代田町でも初めての産業祭同で行うことになり、昨年までの文化祭とは異った文化祭をと計画をたてました。現在マスコミによるおしつけの文化を味あわされているような感じがしてなりません。その中で私達は私達の手で作りに上げた文化祭をと思いましたがなかなか思うようにいきません。

しかし、この文化祭を機会に低迷状態にある青年活動を盛り上げたいと思います。

千代田町青年連合会長 黒 井 信 壮

農業・林業・水産業

会場 千代田町農協中央倉庫
 担当 千代田町農業協同組合 千代田町
 千代田農業改良普及所
 山県森林組合 千代田町養鯉組合
 広島県北部酪農業協同組合 千代田町盆栽会
 千代田町農業問題研究会 千代田町菊花同好会

〈展示の目的〉

急激に発展する経済の中で特に商品経済は高度に成長し、農業の専業化、また一方では兼業を余儀なくするなど階層分化が激しくなりつつあります。

農業の憲法とも云うべき農業基本法が昭和36年に制定され、いろいろの振興施策が構じられて来ました。

しかし、他産業とは構成要素を異にする農林水産業は、机上計画どおりに実現せず一現象として一時的な農産物過剰は遂に世界的食糧不足となって現われて来ました。

千代田町の農林水産業もこうした情勢をまともに受け、生産の基盤はゆらぎ始めました。

反面、農林業により自立する専業農家も育成され、着々その成果をあげている実例も多々あり、真に千代田の農林業として育っています。

私達の受持つこの分野では次にかゝる専門分野にそれぞれ千代田の現況を分析紹介し、あわせて未来像を求めて発表します。

●展示の目的

安定的に食糧自給を計るためには、一層高能率的な栽培形態とあわせて技術改善が必要です。

さらに請負耕作、共同化の推進も要求される時代になりつつあることから、これらの実例をあげながら説明し省力化の方法として経営規模別に機械化の体形を実物（機械）により展示説明します。

●展示の内容

- | | | | | | |
|----------|----------|-------|--------------|---------|--------------|
| 1. 食糧の概要 | ○食糧の需給状況 | 2. 経営 | ○請負耕作と経営規模拡大 | 3. 栽培技術 | ○電熱育苗技術とその資材 |
| | ○米価の推移 | | ○地域共同化 | | ○水稲良質米の品種展示 |
| | | | ○機械化の方向 | | ○主要病害虫 |
| | | | | | ○施肥と土壌改良 |
| | | | | | ○乾田バラ播の体形と方向 |

●展示の目的

土地と家庭を守りながら他産業に負けない収入を得るためには、出荷野菜栽培の推進が有利であると考えられます。この展示では千代田町内の出荷野菜の現況と今後の栽培を写真、実物により展示します。

なお緑のある生活を楽しむために作りやすい花木を展示し、栽培方法も指導します。

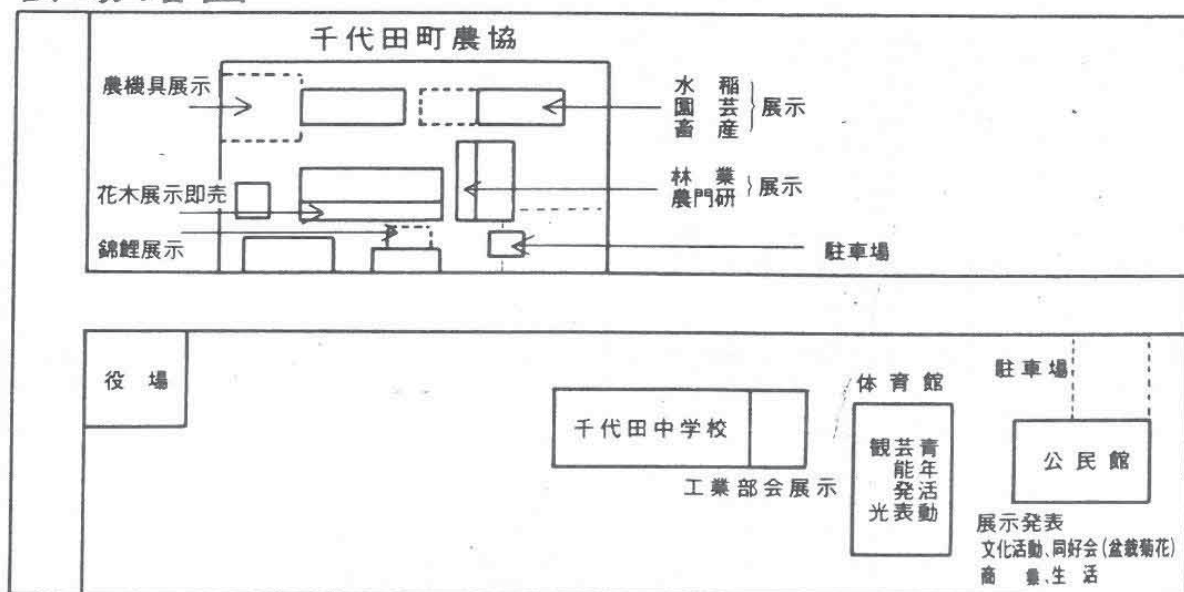
●展示の内容

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 町内地区別主要作物展示 | 4. 主要野菜必要資材展示 |
| 2. 年次別野菜販売高 | 5. 主要出荷野菜の栽培方法と実物展示 |
| 3. 主要野菜過去10ヶ年価格推移 | 6. 花木の栽培と即売 |

プログラム

| 会場名 | 日時 | 3 日 | 4 日 |
|-------------|-------|-------------------|--|
| 千代田町 体育館 | 11:00 | 神 楽 上川戸神楽団一鐘旭 | 10:00 青年意見発表会 |
| | 12:00 | 歌舞伎 勸進帳一新庄学園 | 13:00 講演会 講師 民族学者 錦田貞雄氏 テーマ 民族学からの千代 田人と文化財保護 |
| | 13:30 | 映画会 恍惚の人 | 15:00 M. C. C 演奏 フォークダンス |
| | 15:30 | 神 楽 有田神楽団一八岐大蛇 | のど自慢大会 ゲーム |

会場略図





八重青年会

目的 同じ地域に住む青年の交流の場としてお互いの親睦を深め青年としてのあり方を考え、地域に貢献する事を目的としている。
行事 ○盆踊り ○道路標識の設置 ○奉仕活動など
役員 会長 岡本 守 副会長 岩田 博昭
運営委員 横路 国雄 余谷きみえ 五反田峯雄 藤田さなえ

壬生青年会

目的 後継者の育成
いつでも人の上に立ち活動が出来るような青年を作る事
行事 ○花田植 ○奉仕活動 ○キャンプなど
役員 会長 友広 和行 事務局 滝本 俊崇 副会長 松島 照登 吉国 悦子
体育部 丸岡 義行 女子部 三田 房子 常任委員 新田 良作

本地青年会

目的 会員の友好を深める
行事 ○降誕会 ○ハイキング ○奉仕活動など
役員 会長 川本 積

八重東青年会

目的 会員相互の親睦をはかり緊密なる連絡のもとに、共に励まし健全にして明朗なる郷土、千代田町の産業を開発し青年の意識向上と地域社会の進歩を通じて民主日本の発展に寄与する事を目的とする。
行事 ○オリエンテーリング ○管絃祭 ○とんど
役員 会長 沖繁 健一 副会長 後田 隆則
社会部 今知 育男 体育部 中岡 貴三
女子部 高杉 頼子 事務局 頼光 政子 常任委員 専坊 哲男 小田 清美

南方青年教室

目的 我々青年相互の理解と友好を深め互いに競い合い、自分自身をみがくと共に地域社会への貢献を活動の目的とします。
行事 ○視察旅行 ○座談会 ○年越会
役員 会長 岡本 雪男 副会長 石原 正行 川崎 孝子
体育部部长 横山 清文 副体育部長 菅田とも子 会計 藤原 美代子 書記 小玉 洋子

川泊青年会

目的 若者が集い共同生活の中で各種の研修、活動を計画的に行い、健全なる青年を育成することを目的としている。
行事 地域で行われる各種行事に積極的に参加
会員数 会長外 25名

Artist Culb Chiyoda

アーティスト クラブ チヨダ

この青春期に絵画を通して自己を探究し何かをつかみたいと考え、結成して17カ月が過ぎた。今、会員17名、木炭デッサンを基礎学習としてそれぞれ油絵、水彩、イラストなど勉強し、クラブとして地域への意識啓発活動もしている
会長 五反田峯雄 事務局 清水 勇三

Music Culb Chiyoda

ミュージック クラブ チヨダ

千代田在住者で音楽好きの者が集まってクラブを結成して3カ月、現在レパートリーが11曲、これからもつとレパートリーをふやし、巾広い音楽の出来るクラブにしてゆきたい。

リーダー (サクソ) 沢崎 円
(ドラム) 松原 (ペット) 高村 (ベース・ギター) 田坂
(サイド・ギター) 渡辺 (ベース・ギター) 浜原 (フルート) 三宅
(リード・ギター) 比奈田

千代田町中央公民館

世はまさに情報化時代

都会といわず農村といわず、マスコミのもたらす情報にいかに対処するかが社会教育の中心的課題。

考える人間・自主性をもつ人間の育成

学習と創造の場——公民館

卒業、文化祭にはまず映画を観て考えましょう

人生を………?

千代田町農業問題研究会

●目的

21世紀の農業の確立をめざし会員26名により構成し、今後の千代田町の地域社会の発展に貢献し、あらゆる問題を研究し思考することを目的とする昭和48年度のテーマは「流通と畜産公害」をあげ研究しています。

●事業

○休耕田管理 ○3ha ○乾田バラ播き栽培 1.2ha ○あなたも一日農業者、観光農園の試み
 会長 松本 仁士 副会長 藤田 国夫 事務局 近本 崇治

盆 栽 同 好 会

経済発展に伴う消費生活の向上は、私達の精神生活の上に漸次潤をなくし、常に不安と焦躁感をもたらすようになりました。千代田盆栽会はこうした現代に盆栽作りを通じて心のくつろぎを求め、同好の人々と互に温い人間関係を結んで、明るく楽しい町作りをしようと云う事で結成されました。

去る2月18日結成総会を行い目下110名の会員です。毎月集って研究、講習、展示、見学などを行い一同喜んで出席しています。

将来互に技術を鍊って各自の趣味の向上のみならず、千代田盆栽が本町の観光産業面に寄与する素地を作る事を目標に頑張っています。

今回千代田町産業・文化祭にあたり、平素愛育し創作したもの約110点を展示し、専門家の鑑別による授賞及び皆さんのご批判、ご鑑賞をお願いすることにしました。設立以来日の浅いことで未熟な作品ですが、私達の熱意をおくみとり下さいまして大いにご来観ご激励下さい。

菊 花 同 好 会

「菊を見て菊作ろうと思いきり」すがすがしい秋の冷気の中に、見事に咲いた大輪菊や懸崖菊、盆栽菊をみては誰でもこのような気持ちになることでしょう。

やはり菊の楽しみは花を見て楽しむことより、作って楽しむことにあると云うわけで生まれたのがこの同好会です。去る45年秋、同好者が集り尾田敏夫氏を会長として発足したものです。

特に本年は、千代田町産業文化祭に参加し会員はもちろん、広く一般同好の方々と共に益々技術の研鑽に努力したいと考えます。

町民のみなさんのご声援をお願いいたします。

生 活

会 場 千代田町中央公民館調理室
 担 当 千代田農業改良普及所

●展示の目的

千代田町のすぐれた伝統的な生活技術の伝承普及および開発のため、衣、食、住に関する写真、実物、図表を展示しこれからの理想的な生活を表現します。

あわせて消費生活の複雑な変化に対応するため、消費生活の原点および安全性を考えるため、消費生活に関するパネルの展示により、生活に役立つ知識、技術を身につけ「かしこい消費者、考え行動する消費者」になることを目的とする。

●展示の内容

1.衣○すばらしいお母さんを表現
 現するための家庭着
 ○色彩豊かで機能的な作目別
 作業着

2.食○手づくりの味を生かした町
 内産物の加工品
 イチゴ、トマト、ピーマン
 キュウリ、シソ、牛乳、ブ
 ロイラー、山菜等

3.住○これからの望ましい農家住
 宅像について

工 業

会 場 千代田町立千代田中学校教室
 担 当 千代田町商工会工業部会

●展示の目的

交通力の拡大は地域産業に多大な変革をもたらし、広島市経済圏との相乗関係において、我千代田町の芸北経済圏の中で果す役割は増々拡大されている現在、恵まれた自然環境と良質の人的資源のもとに、工業部会入